

きっと見つかる、ずっとつながる笑顔の和

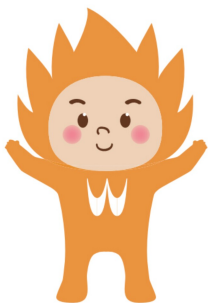
号外

2023年08月

わげん便り



左) 新理事長 松本豊 様 右) 前理事長 座間研一 様



【目次】

- 新理事長より御挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 ページ
- 新役員・評議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 ページ
- 医療危機対策統括官 阿南英明先生 来院・・・・・・・・・・3 ページ



新理事長より御挨拶



理事長 松本豊

【御略歴】

平成元年06月 北里大学医学部 外科学教室 入局
平成02年09月 東京都あそか病院 外科 出向
平成04年04月 北里大学病院 外科 病棟医
平成05年04月 長野県厚生連北信総合病院 外科 出向
平成07年04月 相模原赤十字病院 外科 出向
平成12年04月 総合相模更生病院 外科 入職
平成14年04月 同 外科部長
平成29年01月 同 副院長
平成30年02月 同 病院長
令和05年06月 社会福祉法人ワゲン福祉会 理事長 就任

法人全職員の皆様、日々の業務大変お疲れ様でございます。この度、去る6月28日に開催されました当法人理事会に於きまして、御出席の理事より満場一致の賛意を頂き私が当法人の理事長に、座間研一前理事長の後任として就任することが決定致しました。この場を借りて法人の皆様にご報告申し上げます。

さて現在、私達が生きる時代は本格的な少子高齢化社会への入り口であり、今後人口が減少しその結果、さまざまな国としての機能や力の低下が懸念される訳であります。国家の財政状態も大変厳しく、少子化対策に関わる費用を社会保障費の削減により捻出するとの政府の方針が、マスコミ等により報道されております。冷静に考えるならば私ども、医療、介護、福祉事業にかかわる法人にとっては大変厳しい時代を迎えつつあると言わざるを得ません。

座間富蔵元会長、座間研一前理事長が築き上げてきた当法人に求められる社会福祉法人たる使命に対し、真摯に向き合う姿勢が何よりも大切なことと考えます。いかなる困難な時代に突入しようとも、地に足を付けて持てる力を余すことなく発揮することにより、更なる成長を目指して行けると確信しております。そのためには、全職員が自身に与えられた使命を決して見誤ることなく、日々の精進に邁進する事を大切にしていきたいと思っております。私自身がその先頭に立って、皆様と共に現場の最前線に於いてのみならず、与えられた全ての使命について全精力を注ぎ込んで、最大限の努力を尽くして行く覚悟で有ります。

理事長として大変重い責任を担っていると同時に、様々な裁量権を法人の皆様から委託されていることについて、私の考えを申し上げます。更生病院の病院長として常に心がけていることは、全職員が笑顔で、優しく患者さんに寄り添う姿勢を大切にしつつ質の高い医療を、当院での診療を御希望される全ての方に提供する事です。重要なことは、偏狭な縦割り体制の排除、性別や出自による差別の禁止、個人の性認識の尊重、根拠に乏しい前例踏襲主義や事無かれ主義の排除、責任の所在や根拠があいまいで不透明な決定過程や、非合理的な精神論の根絶、等であろうと考えます。その考え方、物事の進め方を病院内にとどまらず、法人全体に浸透させていくことを、理事長の立場として進めて参りたいと思っております。

総合相模更生病院病院長、法人事業本部長を拝命して約5年半が経過致しました。この間に私自身、当法人の良いところ、至らぬところ、課題について見聞を広げることが出来ました。これらの課題、問題について、今後は理事長として皆様と一丸となって誠心誠意、真摯に向き合いより力のある法人へ成長できますよう全力を尽くして参ります。

社会福祉法人 ワゲン福祉会 役員様



左より)

(監事) 相内邦夫 様 (監事) 土屋隆志 様 (理事長) 松本豊 様 (理事) 座間研一 様
(理事) 金子智代美 様 (理事) 高橋哲 様

～駒野登志夫理事より、お言葉をいただきました～

このたび、ワゲン福祉会の理事に重任いたしました駒野登志夫です。

私は、現在、東京都中野区にあります社会福祉法人武蔵野療園理事長をしておりますが、当法人においても病院他特養、グループホーム、ケアハウス、地域包括支援センター、デイサービス、訪問介護、小規模多機能ホームなど福祉事業所を経営しております。

経営規模は異なるものの、貴法人様と同じような事業を展開している関係で、少しでもお役に立てることがあれば幸いです。

次回の介護報酬・診療報酬改定においては、国の子育て支援・防衛予算を優先していく方針が見込まれ、高齢者医療、高齢者福祉の締め付けが厳しくなることが予想され、今後の経営状況がますます厳しいものになる中、貴法人が取り組む一般医療の充実と障害者支援事業への取り組みなど、参考にさせていただくことも多くあり、法人同士で相互に協力関係を継続していけることを願っています。

まだまだ、教えていただくことが多い中、今後ともよろしくお願いたします。



理事 駒野登志夫 様



社会福祉法人 ワゲン福祉会 役員・評議員名簿

理事長	松本 豊
理 事	座間 研一
理 事	長友 賢一
理 事	駒野 登志夫
理 事	金子 智代美
理 事	高橋 哲
評議員	利光 剛
評議員	村井 祐一
評議員	中村 徳治
評議員	野田 肇
評議員	増田 國男
評議員	大塚 龍彦
評議員	湯本 哲郎
監 事	土屋 隆志
監 事	相内 邦夫

医療危機対策統括官 阿南英明先生 御来院



左より、
阿南英明先生（医療危機対策統括官） 松本豊理事長（ワゲン福祉会） 三森倫先生（相模原市保健所所長）

拝啓 初夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大において、本県ではクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の集団感染患者に対応した経験から、医療提供体制「神奈川モデル」を全国に先駆けて打ち出し、感染状況に応じた独自の「病床確保フェーズ」の設定や、フェーズに応じた確保病床に関する個々の病院との協定の終結等、医療機関や関係団体と緊密に連携し、まさに、県一丸となって医療提供体制の強化を図りながら乗り切ってきました。

これまで貴院におかれましては、「神奈川モデル」に対して、一早く、御理解、御賛同、御尽力いただいたこと、改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更において、政府からはあらかじめ都道府県と医療機関とで感染状況に応じたフェーズを設定し、コロナ確保病床を計画的に確保すること、確保病床によらず幅広い医療機関で受入れを進めること等の方針が提示されております。

政府の方針に沿って御対応いただく中で、御不便をおかけすることも想定されますが、今後は一般医療の中で新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制を確保すべく、引き続き、御理解と御協力を賜るようお願いいたします。

敬具

総合相模更生病院 院長様

神奈川県理事（医療危機対策統括官）
阿南 英明